

建学発 2019-第 0119 号
2019年 10月 11日



ラスシート工業会
会長 山中 豊茂 殿

一般社団法人 日本建築学会
会長 竹 脇



国会主催講習会の後援方依頼について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より本会の諸事業にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、このたび下記により講習会を開催するにあたり、貴会のご後援を賜りたく、関係書類を添えてご依頼申し上げます。
つきましては、何卒ご高配のうえご承諾賜りますようお願い申し上げます。
誠にお手数でございますが、同封の返信用紙により、諾否をご回示いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 催し物等の種類、名称及び目的
 - ・種類：講習会
 - ・名称：「建築工事標準仕様書 JASS 15 左官工事」改定講習会
 - ・目的：『建築工事標準仕様書・同解説 JASS 15 左官工事』改定版刊行を機に関連技術者への普及啓発、資質向上を図ることを目的とする。
 - ・詳細：別紙
2. 催し物等の期間及び場所 別紙
3. 使用する名義 後援
4. 後援に伴う負担金 無し／機関誌・ホームページへの掲載をお願いいたします。
5. 特典 貴会会員の参加費割引
6. 事務担当
〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20
一般社団法人 日本建築学会
事務局 事業グループ 及川健太
TEL：03-3456-2051（代表）
TEL：03-3456-2057（事業グループ）
FAX：03-3456-2058
E-mail：oikawa@aij.or.jp

「建築工事標準仕様書 JASS 15 左官工事」改定講習会

主催—材料施工委員会 内外装工事運営委員会

後援（予定）—開催地都府建築士会、開催地都府建築士事務所協会、日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築構造設計事務所協会連合会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築センター、公共建築協会、全国建設業協会、日本建築士上学会、日本建築仕上材工業会、日本左官業組合連合会、日本漆喰協会、日本住宅モルタル外壁協議会、日本塗料工業会、日本塗装工業会、ラスシート工業会、近畿メタルラス工業組合、日本建築材料協会、日本壁装協会、壁装施工団体協議会、壁紙工業会、全国タイル業協会/全国タイル工業組合、日本タイル煉瓦工事工業会、全国タイル検査・技術協会、石膏ボード工業会、ALC 協会、日本外壁仕上業協同組合連合会

主旨—「建築工事標準仕様書 JASS 15 左官工事」は、日本に建設される通常規模・形態の建物を対象として、設計者が施工者に対して提示する各種仕様書のうち左官工事にかかわる標準的な仕様書である。旧 JASS 15 は 2007 年に改定が行われた。その後、2011 年の東日本大震災などによる左官外壁の被害調査およびこれに関する実験結果の整備が行われている。左官工事は、地場特有の材料や配合、そして作業による独自の作業手順などにより行われているものも多い。近年で一般社会における環境に対する関心の向上から、天然材料や伝統工法なども注目されており、左官工事に対する要望も変化している。また、本会では、設計仕様書としての役割を果たすべき建設工事標準仕様書のあり方検討を長期にわたって行っている。そこで、本会では、材料施工委員会・内外装工事運営委員会の傘下に「左官工事改定小委員会」を設置して、上記の状況を念頭に指針（案）の改定作業を進めてきた。

主な改定は、目次の見直しや用語の見直しを行った。4 節「適用下地」では、左官工事を適用する下地を追加し本仕様書の適用範囲を明確化した。またラス下地の解説表や解説図を追加した。5 節「次工程のための下地づくり」では、適合表や工程を表で表記した。6 節では、現状に合わせ、材料や工法の削除や追記を行った。7 節「土物工法」は、材料、工法ともできるだけ図表を用いて詳細な表記を行い、わかりやすい表記とした。その他、JIS や関連法規との整合性、材料規格の見直しを行った。このたび改定された本仕様書が、左官工事の健全な発展に有効に寄与するものとなれば幸いである。本会会員ならびに関連する多くの技術者各位に奮ってご参加いただきたい。

参加費（テキスト代含む）

- (1) 日本建築学会会員 13,000 円 (2) 後援団体会員 15,000 円 (3) 上記以外 18,000 円

テキスト ※一般販売は講習会終了後となります。

『建築工事標準仕様書・同解説 JASS 15 左官工事』、B5 判、約 330 頁

申込み方法*

会場によって申込方法が異なりますのでご注意ください。お電話での申し込みは受け付けておりません。

1.....参加申込書（郵送）による申込み

参加費をお支払いのうえ、必要事項を明記した参加申込書（裏面）と参加券送付用封筒（84 円切手貼付、宛名記入）を同封し、お申込みください。

2.....WEB からの申込み

日本建築学会ホームページ「催し物・公募一覧」からお申込みください（参加申込書と参加券送付用封筒の郵送は不要）。<http://www.aij.or.jp/>

開催地	期日	会場	定員	申込方法*	申込先	参加費支払い方法
東京	2019 年 12 月 5 日 (木)	建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)	200 名	1	日本建築学会 「JASS 15 左官工事」改定講習会 係 〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20 TEL : 03-3456-2057	○銀行振込 ・三菱 UFJ 銀行京橋支店 普通預金口座 2318455 シヤ) ニホンケンチクガツカイ ○現金書留
				2	https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=625037	○クレジットカード決済 ※領収書は原則、カード会社発行の「利用明細書」をもって代えさせていただきますが、必要な方には当日、休憩時間に受付でお渡ししますので、お申し出ください。
大阪	12 月 11 日 (木)	大阪科学技術センター8 階中ホール (大阪市西区鞆本町 1-8-4)	100 名	1	日本建築学会 近畿支部 「JASS 15 左官工事」改定講習会 係 〒550-0004 大阪市西区鞆本町 1-8-4 大阪科学技術センター内 TEL : 06-6443-0538	○銀行振込のみ ・三井住友銀行大阪本店営業部 普通預金口座 4481226 ・ゆうちょ銀行 418 店 同行からの振込 14100-90203811 他行からの振込 (普) 418-9020381 シヤ) ニホンケンチクガツカイキンキシブ

プログラム

時間	11:00~11:25	11:25~12:10	13:10~15:10		15:20~16:10	16:10~17:00
内容	趣旨説明/ 第 1 節：総則	第 2 節：材料一般/ 第 3 節：施工一般	第 4 節：左官工事を適用する下地/ 第 5 節：左官工事による下地づくり		第 6 節：左官工事による仕上げ	第 7 節：土物壁工法および土物床工法/ 第 8 節：特設
東京	永井香織 (日本大学)	大久保孝昭 (広島大学)	宮村雅史 (国土技術政策総合研究所) 守屋善裕 (日本化成)	休憩	守屋善裕 (前掲)	興石直幸 (早稲田大学)
大阪	永井香織 (前掲)	大久保孝昭 (前掲)	宮村雅史 (前掲) 守屋善裕 (前掲)		井上照郷 (日本建築仕上材工業会)	興石直幸 (前掲)

※東京会場の司会は永井香織（前掲）が行いますが、大阪会場では支部役員が行います。

※講師・時間割は都合により変更となる場合がございます。

講習会参加申込書

講習会名	「建築工事標準仕様書 JASS 15 左官工事」 改定講習会 () 会場			
参加者 *1	フリガナ		会員番号	
	氏名			
会員区分 *4	<input type="checkbox"/> 日本建築学会会員 (個人会員 / 法人会員・賛助会員 *2) <input type="checkbox"/> 後援団体会員 (団体名・No. 等) <input type="checkbox"/> 上記以外			
勤務先名 *3		所属部署		
住所	〒 - (<input type="checkbox"/> 勤務先・ <input type="checkbox"/> 自宅)			
電話		FAX		
E-mail *1				
参加費	円			
支払方法・ 申込方法 *4,5	<input type="checkbox"/> 銀行振込： 指定口座に入金のうえ、本申込書 (振込依頼銀行欄記入または振込明細書コピー貼付) と参加券送付用封筒 (84 円切手貼付、宛名記入) を同封し、お申し込みください。折り返し参加券と領収書をお送りします。			
	<input type="checkbox"/> 現金書留： 本申込書と参加券送付用封筒 (84 円切手貼付、宛名記入) を同封し、代金を添えてお申し込みください。折り返し参加券と領収書をお送りします。			
振込元銀行 (右欄記入の代わりに、振込明細書コピーを貼付いただいても結構です。)	銀行名・支店名	銀行	支店	
	振込依頼人(社)名			
	振込日	年	月	日
	振込金額	円 (他と合算送金の場合は、通信欄へ内訳をご記入ください)		
関連催し物のご案内	<input type="checkbox"/> 今後、関連する講習会等催し物の案内を希望しない。 (今後、関連する講習会等催し物のご案内をお送りします。希望されない方は、 <input type="checkbox"/> に✓を記入してください)			

- *1：同一組織での複数名によるお申し込みの際は、参加者全員の①氏名 (フリガナ)、②会員番号、③会員区分を通信欄にご記入いただければ、申込書は1枚で結構です。
- *2：法人会員・賛助会員は、1口につき5名を会員扱いとします (必ず会員番号をご記入ください)。
- *3：領収書の宛名は勤務先名とさせていただきます。ほかに宛名の指定がある場合は通信欄にご記入ください。
- *4：該当区分の に✓を記入してください。
- *5：他会場・他講習会への参加の振り替えはできません。
- *6：参加費の払い戻しはいたしません。なお、振込手数料は申込者にてご負担ください。

通信欄